

VDI グラフィックスカード(NVIDIA Tesla M10)【PY-VG3M1 / PYBVG3M1】 はじめにお読みください

このたびは、当社の製品 **VDI グラフィックスカード(NVIDIA Tesla M10)【PY-VG3M1 / PYBVG3M1】** (以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。

2017 年 7 月
富士通株式会社

目次

1. はじめに.....	2
2. ソフトウェアライセンスおよびサポートライセンスについて	2
3. サポートする構成.....	3
3.1 対象のハードウェア	3
3.2. ファームウェア要件	3
3.3 サポート状況について.....	3
4. サーバ本体の BIOS 設定について.....	3
4.1 BIOS 設定の確認.....	3
5. Citrix XenServer でご使用になる場合	4
6. VMware ESXi でご使用になる場合.....	5
6.1 本体 BIOS 版数(CX2570 M2: BIOS 1.7.0 以下、RX2540 M2:BIOS 1.12.0 以下) について.....	5
6.2 それ以外の本体 BIOS 版数について.....	5
6.2.1 Interrupt Remapping 設定の確認	5
6.2.2 Interrupt Remapping 設定の変更	5
7. Windows 上の画面が表示されない場合.....	6
8. 最後に.....	7

1. はじめに

本製品のサーバ本体への搭載手順については、以下のWebサイトにて掲載しているそれぞれのサーバ本体のアップグレード&メンテナンスマニュアルをご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

※本製品を **PRIMERGY CX2570 M2** サーバノードに搭載する際には、本製品に取り付けられているブラケットを外す必要があります。

※ **PRIMERGY CX2570 M2** サーバノードのアップグレード&メンテナンスマニュアルに本製品の搭載方法が記載されていない場合は、「GPGPU拡張」の章の "**Xeon Phi**" を参照してください。また、ケーブル配線に本製品の接続方法が記載されていない場合は、「ケーブル配線」の章の "**GPGPU**" を参照してください。

本製品の詳細情報につきましては、以下のNVIDIAのWebサイトをご覧ください。

<http://www.nvidia.co.jp/object/nvidia-grid-jp.html>

サーバ本体のファームウェアについては、以下のWebサイトにて入手してください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

本製品の留意事項やサポート情報については、以下のWebサイトに掲載の「テクニカルガイド」および「VDIグラフィックスカードサポート情報について」をご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/vdi-graphic.html>

2. ソフトウェアライセンスおよびサポートライセンスについて

本製品を利用するには、**NVIDIA GRID** ソフトウェアライセンスが必須となります。

以下のシステム構成図を参照し、**NVIDIA GRID** ソフトウェアライセンスを必ず購入してください。

初回購入 1 年目は、**NVIDIA GRID** ソフトウェアライセンスとサポートライセンスの両方がついています。2 年目以降継続してご使用になる場合には、期限内に初回購入したライセンスと同じ数量のサポートライセンス(2 年目以降更新型 1 年)を購入する必要があります。サポートライセンスを購入せずに期限が切れた場合はサポート対象外となります。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

3. サポートする構成

3.1 対象のハードウェア

以下のサーバ本体にてVDI環境用途として本製品をサポートします。

PRIMERGY RX2540 M2
PRIMERGY CX2570 M2

3.2. ファームウェア要件

以下の BIOS/iRMC 版数以降で本製品をご使用頂けます。

PRIMERGY System	BIOS / iRMC 版数
CX2570 M2	1.8.0 / 8.64F (注)
RX2540 M2	1.15.0 / 8.64F (注)

富士通はファームウェアアップデートでのシステムへの損失等について責任を負いません。

(注) iRMC版数(8.64F)の場合、本製品の温度がiRMC Webインターフェースにて表示されません。

(温度表示機能はCX2570 M2についてはiRMC 8.65F 版以降で、RX2540 M2についてはiRMC 8.66F 版以降でサポートしています)

3.3 サポート状況について

富士通がサポートするOS/ドライバ/ファーム版数については以下のWebサイトをご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/pdf/card/vdi-support-m10.pdf>

4. サーバ本体の BIOS 設定について

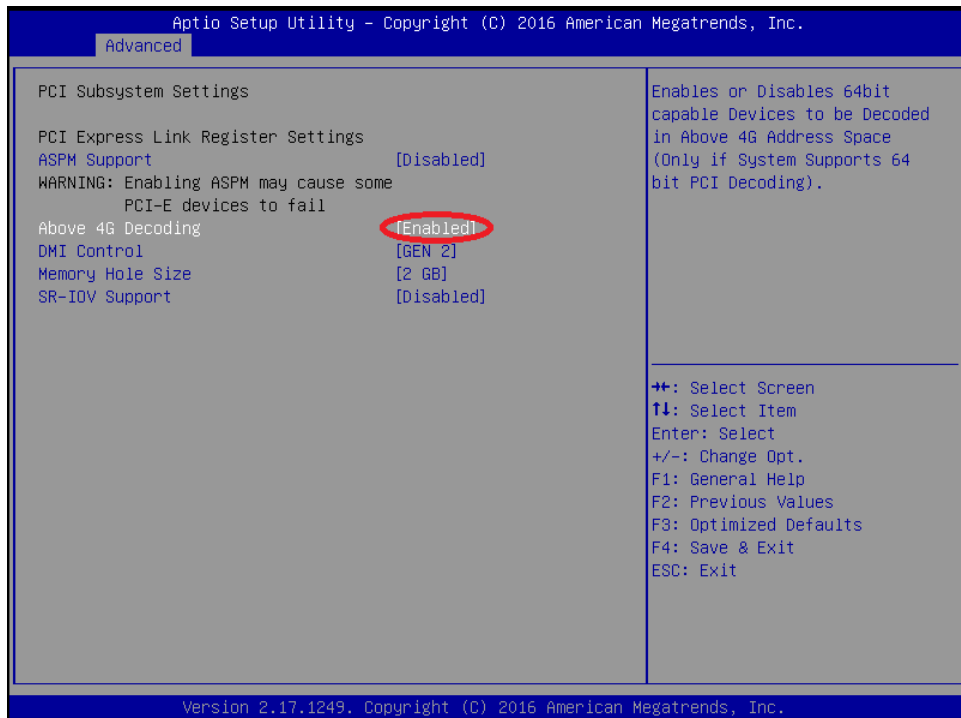
4.1 BIOS 設定の確認

本製品をサーバに搭載する前にサーバのBIOS設定(以下)の **"Above 4G Decoding"** の項目が **"Enabled"** であることを確認してください。**"Disabled"** の場合、本製品をサーバに搭載するとBIOS起動時にエラーとなります。

【確認方法】

- 1) BIOS設定画面に入ります。
- 2) **"Advanced"** メニューを表示します。
- 3) **PCI Subsystem Setting**メニューの表示を確認します。
- 4) ここで **"Above 4G Decoding"**項目を確認します。
- 5) **"Save and Exit"**を実行してBIOS設定画面から抜けます。

【参考 : BIOS Setup Utility 画面】



5. Citrix Xenserver でご使用になる場合

Citrix にてシステム運用する際に、以下の本体 BIOS 版数で Crash/ハングが発生する場合、次の手順にて問題を回避する必要があります。

【CX2570 M2: BIOS 1.7.0 以下、RX2540 M2:BIOS 1.12.0 以下】

Interrupt Remapping を無効にします。手順はホストにて以下のコマンドを実行し、XenServer のブートオプションに「**iommu=no-intremap**」を設定してホストを再起動します。

```
# /opt/xensource/libexec/xen-cmdline --set-xen iommu=no-intremap
```

6. VMware ESXi でご利用になる場合

本カードを使用して VMware ESXi をご利用の場合、次の本体 BIOS 版数では以下の手順が必要になります。

6.1 本体 BIOS 版数(CX2570 M2: BIOS 1.7.0 以下、RX2540 M2:BIOS 1.12.0 以下) について

Interrupt Remapping を無効にする必要があります。Direct Console User Interface(DCUI)または SSH 接続を使用し、以下を実施してください。

<Interrupt Remapping 無効の手順>

- 1) 対象のESXiホストにログインして下記コマンドを実行します。
`# esxcli system settings kernel set --setting=iovDisableIR -v TRUE`
- 2) 対象のESXiホストを再起動します。

なお、該当の BIOS については、vGPU/vDGA モードは制限となります。vSGA モードにてご利用ください。

6.2 それ以外の本体 BIOS 版数について

ESXi のバージョンやパッチ等によって、**Interrupt Remapping** 設定が無効になっている場合がありますので **Interrupt Remapping** 設定を有効にする必要があります。以下の手順にて必ず設定を有効にしてください。

6.2.1 Interrupt Remapping 設定の確認

下記の手順で **Interrupt Remapping** が有効か確認してください。

- 1) BIOS設定において VT-dが有効か確認します。
- 2) 対象のESXiホストにて下記コマンドを実行し、オプション設定 **iovDisableIR** が **FALSE** であることを確認します。
`# esxcli system settings kernel list -o iovDisableIR`
- 3) 対象のESXiホストを再起動します。

6.2.2 Interrupt Remapping 設定の変更

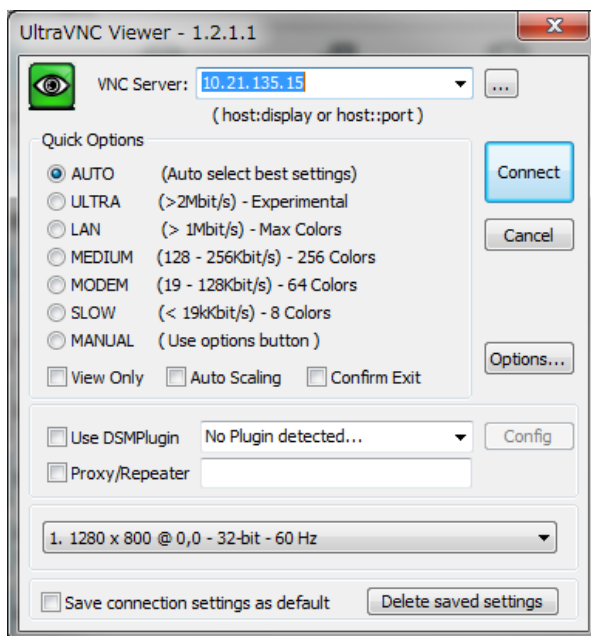
下記の手順で **Interrupt Remapping** を有効化してください。

- 1) BIOS設定においてVT-dを有効にします。
- 2) 対象のESXiホストにて下記コマンドを実行しオプション設定 **iovDisableIR** を **FALSE** に変更します。
`# esxcli system settings kernel set -s iovDisableIR -v FALSE`
- 3) 対象のESXiホストを再起動します。

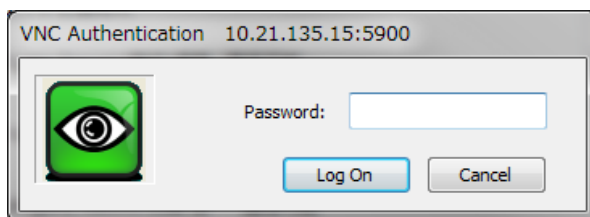
7. Windows 上の画面が表示されない場合

物理サーバに本カードを搭載してWindows Server 2012 R2上で本カードのドライバをインストール後、Windowsを再起動した場合、Windowsの画面が表示されない場合があります。この場合、VNCなどのリモートビューアを使用し、次の手順にて回避することができます。

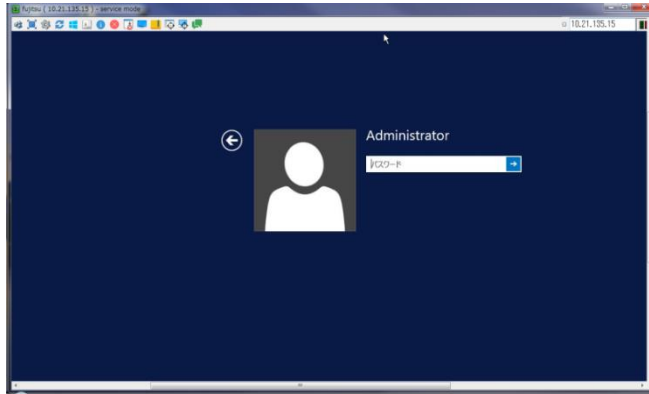
- 1) セーフモード（F8キー）にて物理サーバのWindowsを起動します。
- 2) VNC（サーバ用）をインストールして物理サーバ側のIPアドレスやパスワード等を設定します。
- 3) Windowsを再起動し、セーフモードから抜けてWindowsを通常起動します。
- 4) 物理サーバに接続する別のPCを用意し、VNC（クライアント用）をインストールします。
- 5) 物理サーバと別のPCをLANケーブルで接続し、ネットワーク経由で別のPCからVNC Viewerを起動します。
- 6) 設定したIPアドレスにて物理サーバに接続します。



- 7) 設定したパスワードを入力します。



8) 物理サーバにログインします。



9) デスクトップ上を右クリックして、メニューから「画面の解像度」を選択します。



10) 「画面の解像度」の画面で①をクリックし、「これをメインディスプレイにする」にチェックを入れて OK ボタンをクリックします。



以上で、物理サーバ側のディスプレイに画面が表示されます。VNC を切断してください。

8. 最後に

BIOS/iRMCファームウェア版数は最新にしてください。最新版数については、以下のWebサイトから確認してください。
<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

以上